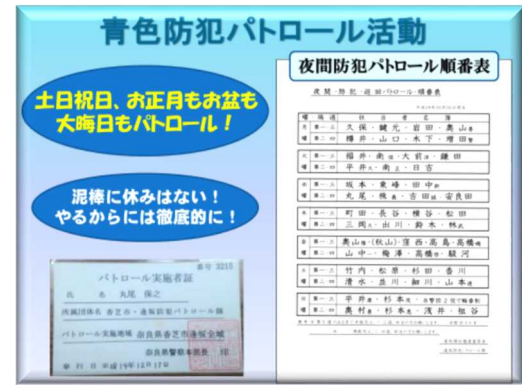


香芝市・逢坂防犯パトロール隊（奈良県）

香芝市逢坂地区は、人口約4,600人、1,800世帯が居住しています。旧来からの住宅が約1割、新興住宅が約9割という割合で、近年、人口増加の著しい地区です。平成16年11月、奈良県内で下校途中の女儿が誘拐されて殺害されるという大変痛ましい事件が発生しました。このような悲惨な事件を二度と起こさせないために、「地域の力で子どもを守ろう」を合い言葉に「香芝市・逢坂防犯パトロール隊」が発足しました。パトロール隊は、自治会役員、民生委員・児童委員、自警団、地域安全推進委員、老人会、福祉推進委員等、70名で構成され、平均年齢は72.5歳です。

登下校時の子供の見守り活動、夜間の青色防犯パトロール活動、定期研修会の開催、「あいさつ・声かけ・鍵掛け運動「チャレンジ絆」」等に取り組んでおります。活動費については、青パト1台を自治会費で購入しており、その車検や修理代、ガソリン代のほか、隊員の制服代、定例会での食事代等、年間で約70万円が必要です。この活動費は、自治会の営繕基金から捻出しています。子供の見守り活動については、小学校から毎月提供される下校予定時刻表を基に見守り順番表を作成し、隊員が交代で、漏れのない活動を推進しています。活動は、帽子やベストを着用し、目立つ格好で、児童等に対し、「おかえりなさい」「こんにちは」と積極的に声をかけています。子供たちからは、「ただいま帰りました」「いつもありがとうございます」と元気な声が返ってきます。また、子供たちから心温まるプレゼントをいただくこともあります。熱い内容のメッセージカードや、手作りのお守り、座布団、コースター等、私たちの活動の励み



になるものばかりです。

私たちの活動の中で、最も活動頻度が高いのが夜間の青パトです。青パトは、パトロール隊の発足当初から1日も休むことなく、365日年中無休で毎晩実施しています。泥棒に休みはないということで、やるからには徹底的にという気持ちで、今日まで毎日頑張ってきています。

警察本部が実施する青パト講習を受講した実施者証を携行している人が必ず1名は乗車した上で、パトカーには最低2名以上乗車して実施するようにしています。また、子供の見守り活動と同様に青パトの順番表を作成し、交代で活動しています。青パトは軽四乗用車ですので、細い路地までくまなくパトロールをし、出会った人には「こんばんは」と声をかけ、地域のコミュニケーションの円滑化を図っています。交代での活動のため、いつ、だれが、どのような活動をしたのか分かるように、また、活動のポイント等について申し送りができるように、毎回の活動時に運転日誌を作成しています。

次に、官民一体となった地域防犯力の向上についてですが、その一環として、子供たちの春休み・夏休み・冬休みの各休みが終わる学期始めに定期研修会を実施し、地元の香芝警察署から犯罪発生状況の情報提供や防犯指導を受けたりしています。また、奈良県警察と地域が連携した防犯対策「あいさつ・声かけ・鍵掛け運動「チャレンジ絆」」に取り組んでいます。これは、地域の絆により犯罪を寄せ付けないというもので、取り組んでいる地域の各家庭では、出入口付近に「声かけ・鍵掛け運動中」のシートを掲示、主要箇所へのぼり旗を設置し、まずは大人も子供も挨拶をすることから始まります。「おはようございます」「こんにちは」「お元気ですか」「どちらへ行かれますか」等の声かけをすることにより、近隣同士での絆を深め、悪いことをしようとしている者が地域に入り込めないように、防犯のバリアを張り巡らすことが大切だと思っています。

そのほかにも、全国地域安全運動期間中には、警察署、交番、地域の子供やその保護者たちと合同パトロールを実施しています。地域の子供たちに対して「挨拶をする」や「ルールを守る」という規範意識を育てていき、次世代の育成へと繋げていきたいと考えています。

それでは、課題とそれに対する取組について説明します。まず、人材確保についてですが、青パト隊員の平均年齢が72.5歳という中、隊員の確保は非常に難しいのが現状です。現在は、協力をしてくださるような方の自宅を、私たちがユニフォームを持参して、お願いするという形で進めています。

課題の2つ目は、児童の登校時登校時の見守り体制についてです。下校時は毎日実施していますが、登校時は毎月15日の近畿交通安全の日と春と秋の全国交通安全運動時のみの活動で、今後は、下校時と同じように、毎日できるような方法を検討していきたいと考えています。

課題の3つ目は、防犯設備の充実についてです。現在、防犯灯を明るくコストの安いLEDに順次交換しています。本年8月には、子供の通学路の安全確保のため、歩道のない道へのグリーンベルトの設置も実現しました。また、昨年7月に香芝市内で小学生を連れ去るという事件が発生し、当初は、警察から各自治会に捜索の要請があり、我々の自治会でも100名体制で地域を捜索しました。その後、犯人が検挙され小学生も無事保護されましたが、この事件で防犯カメラの映像が逮捕につながったことを聞いた私たちは、逢坂地区内の防犯カメラ設置を行政に粘り強く働き掛け、その結果、主要な箇所への設置が実現しました。これも日頃の官民連携と地域の絆が原動力になったのではないかと考えています。

このような活動を続けてきたわけですが、平成25年には警察庁長官と全国防犯協会連合会会長による表彰をいただきました。今後もこの賞に恥じないようと思いつながりながら、でも頑張りすぎて息切れをしないように、地道にぼちぼちと活動を続けていきたいと思っています。



質疑応答

(質問者)

私の自治会ではあまり積極的な活動ができていません。香芝市・逢坂防犯パトロール隊の皆様はどのように活動していますか。

(香芝市・逢坂防犯パトロール隊)

現在、香芝市の自治連合会は43あります。私どもはその中の1つですが、先般も連合会の会議があった中で、今回の発表のことを報告しています。他の自治会も非常に興味があるようで、その後、問い合わせがかなりありました。その中で私が申し上げたのは、当初は人数も少なく、役員ばかりでやっていたのですが、数年前に大阪府警と奈良県警のOBの方、2人を見つけ出し、アドバイスをお願いしたところ、それからは非常に参考となるやり方を教えてもらいながら活動を行っています。また、現在は、団塊の世代の皆さんが、多く活動されています。